

農林水産省から
農家の皆様へ

ツマジロクサヨトウに注意 ～スイートコーンで発生を確認～

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課

- ・南北アメリカで発生以降、アフリカ、アジアまで発生範囲を拡大中
- ・アフリカでは、とうもろこしに甚大な被害
- ・日本では本年7月に、九州・沖縄で初めて発生を確認
- ・飼料用とうもろこしで多く発生していましたが、8月にスイートコーンでも被害が確認されました



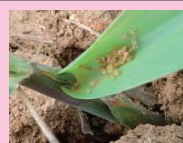
飛翔距離が長い、繁殖力が強い



ツマジロクサヨトウの特徴

- ・気流に乗って長距離移動する
- ・1回の産卵数は150～200個
- ・生涯産卵数は最大1000個
- ・幼虫が葉、茎、子実を食害

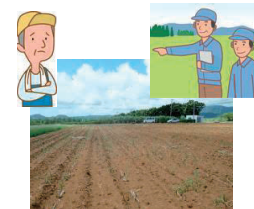
幼虫の食害による被害



多発すると被害が大きくなるおそれ！！



農業散布による防除



被害の拡大防止のため、

- ✓ 現場を確認し、疑わしい害虫を発見した場合は、速やかに問合せ先までご連絡ください
- ✓ 発生が確認されている地域（※）では、農業の散布を検討してください
- ✓ 植物防疫所等の指導に基づき防除を行う地域・品目に対して、農業購入や残さ処理を対象に持続的生産強化対策による支援があります

（※）ツマジロクサヨトウに関する情報
http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html



○問合せ先

ツマジロクサヨトウに対しては 以下の農薬を使用して防除を行ってください。

以下に記載した農薬はツマジロクサヨトウに対して登録はありませんが、植物防疫法第29条第1項の規定による防除を行うために使用が可能です。
また、使用にあたっては購入した農薬の適用作物、使用方法、使用時期、散布液量、希釈倍数使用量、使用回数を守ることで、出荷停止等、流通に支障が出ることもありません。

注：一部抜粋

最新情報については、下記より農林水産省のHPでご確認ください。

○未成熟とうもろこし

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤 (19616, 19618, 19699, 21694, 21695, 23264)	散布	発生初期～収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	-
BT水和剤 (19685, 20653, 21944)	散布	発生初期～収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	-
BT水和剤 (14450)	散布	発生初期～収穫前日まで	60～150L/10a	1000倍	-
MEP乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
NAC粒剤	散布	播種抽出期～収穫抽出期 但し収穫21日前まで	-	4～6kg/10a	2回以内
PAP乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
エトフェンプロックス乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
エトフェンプロックス粉剤	散布	収穫7日前まで	-	4kg/10a	4回以内
エマクテン安息香酸塩乳剤	散布	収穫9日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	2回以内
カルタップ水溶液	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	700倍	2回以内
カルタップ水溶液	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内



横浜植物防疫所
tel 045-285-7135
fax 045-211-2171

名古屋植物防疫所
tel 052-659-1357
fax 052-651-0115

神戸植物防疫所
tel 078-389-5320
fax 078-391-1757

門司植物防疫所
tel 093-321-2809
fax 093-321-0481

那覇植物防疫事務所
tel 098-868-1679
fax 098-861-5500